

海技教育機構卒業後の動向



独立行政法人海技教育機構において、海上技術学校・海上技術短期大学の卒業生の定着状況を調査し、平成28年1月29日に公表したものの。

1. 調査の対象

海上技術学校、海上技術短期大学の平成21、23、25年の3月卒業生及び乗船実習科9月修了者1071名。

2. 調査の実施方法

卒業生へのアンケート票の発送、回答の回収。

3. 調査回収結果

回答者数:325名、回収率33.6%(乗船実習科を含む海上技術学校卒業生からの回答131通、海上技術短期大学卒業生からの回答176通、分類不明18通)。

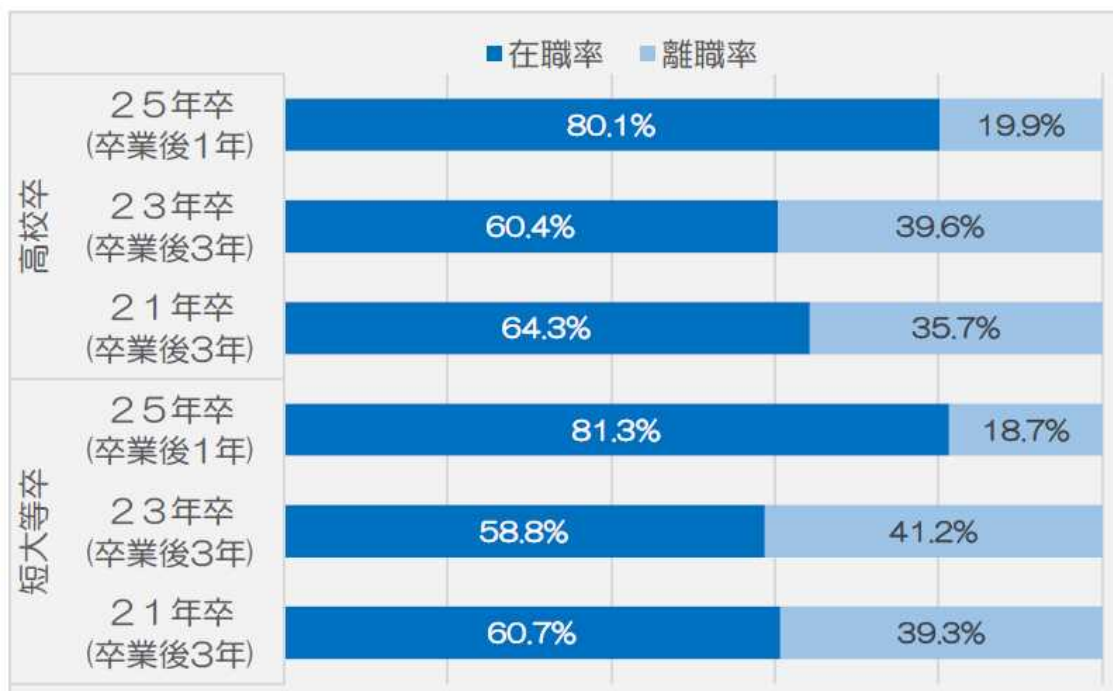
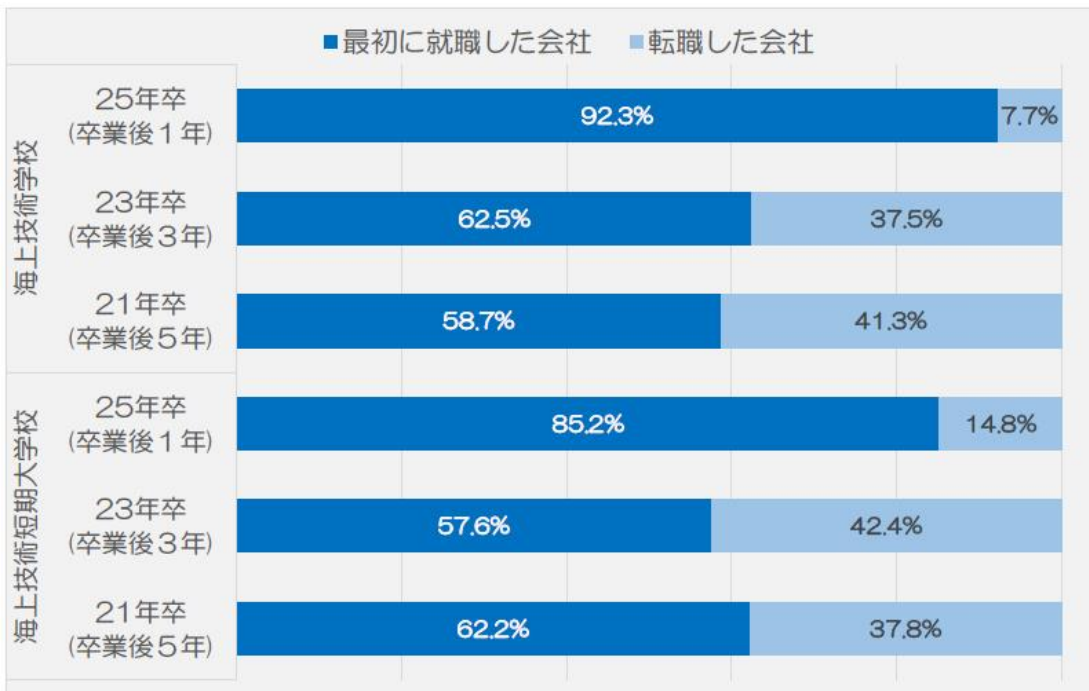
<回収状況>

	回答数	総数	回答率 (%)
平成25年卒業	109	卒業生数 1071	33.6% (325/967)
平成23年卒業	113		
平成21年卒業	97		
(卒業年不明)	6		
合計	325	配達数 967	

- 海上技術学校及び海上技術短期大学の卒業後の定着状況について、海上職、陸上職を含め、卒業生が現在勤めている会社が最初の会社か、転職した会社かを、学校別及び卒業年次毎に集計。
- 集計結果は、厚生労働省調べの新規学卒就職者の卒業後3年までの離職率とほぼ同じ傾向を示している。また、卒業後3年と5年の在職率にさほど差がないことから、3年を過ぎればその会社に落ち着く傾向が伺える。

【卒業生の在職率】

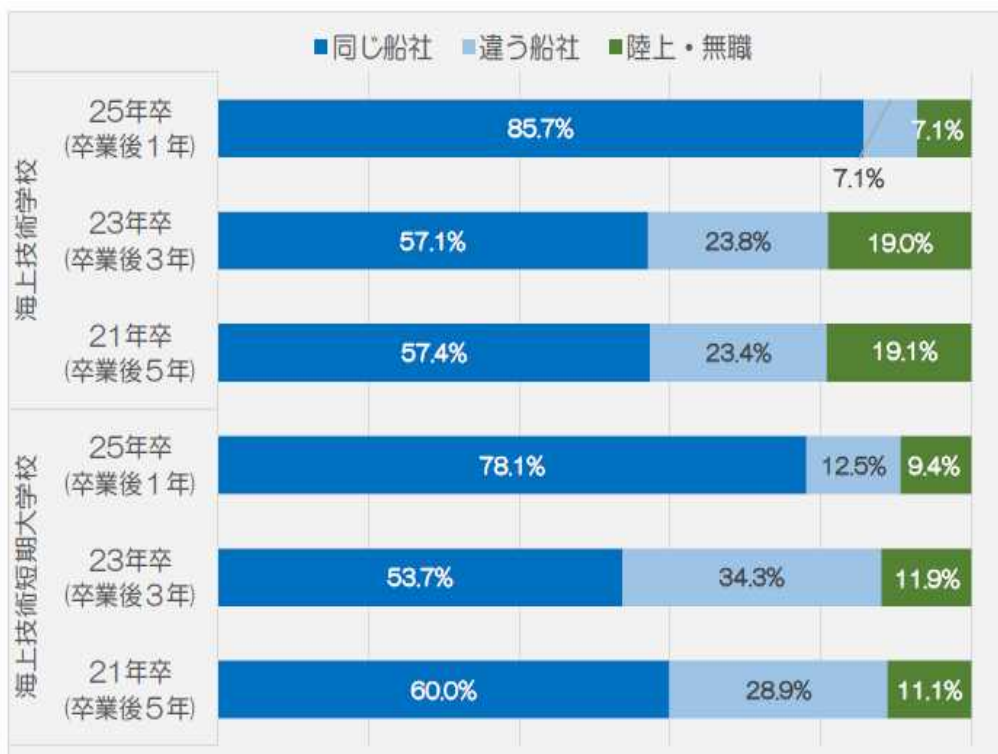
【新規学卒就職者の卒業後3年以内の在職率(厚生労働省調べ)】



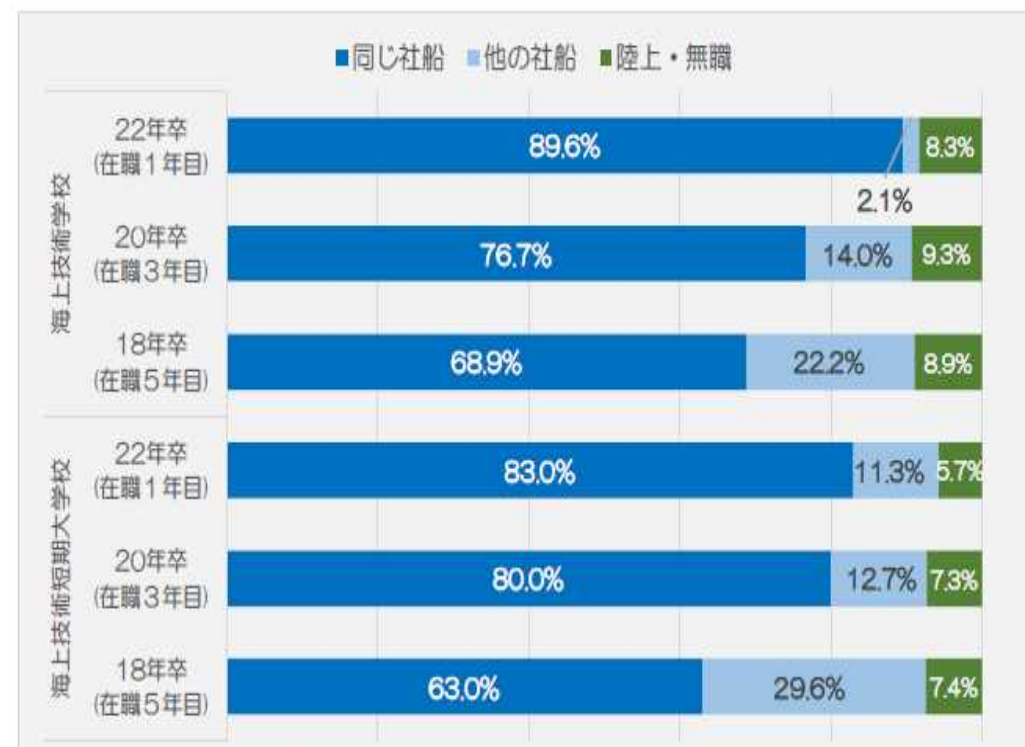
海技教育機構卒業後の動向(平成28年アンケート調査結果)～転職者の状況～

- 平成23年度に実施した調査の結果と比較すると、他の船社に転職する割合がやや高くなっているが、卒業後3年、5年の者でも、海上技術学校の卒業生で8割、海上技術短期大学では9割の者が、海上職を続けている。

【卒業年次毎の転職者の状況(転職者は96名)】



【平成23年実施 卒業年次毎の転職者の状況(転職者は85名)】



- 転職者96名の転職理由は次のとおり。
- 「人間関係がうまくいかなかった」を選択した者が45名と最も多く、次に休暇(28名)、時間外労働(27名)、給与(16名)など、労働条件を理由とする回答が続いた。
- 「その他」としては、パワハラ・セクハラ(10名)、地元へ(5名)など、提示した選択肢との重複もあったが、会社倒産や経営危機等(4名)、解雇(4名)、腰痛(2名)などもあげられていた。

【転職した理由 (複数回答)】

